

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.11	0.00
JPY/THB	0.2288	0.0015
USD/JPY	157.83	-1.01
EUR/THB	39.39	0.14
EUR/USD	1.0907	0.0039
USD/CNH	7.272	0.005
SGD/THB	26.93	0.05
AUD/THB	24.50	0.09
USD/INR	83.54	-0.03
USD Index	104.09	-0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.367	-0.018
10Y (THB)	2.604	-0.017
5Y (USD)	4.102	-0.041
10Y (USD)	4.183	-0.027

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,420.7	-1.2
WTI (Oil)	82.21	-0.41
Copper	9,877.0	90.5

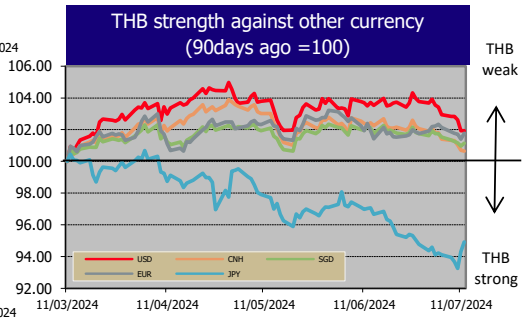
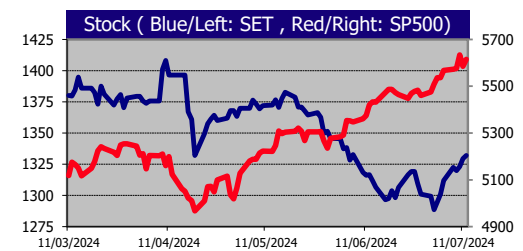
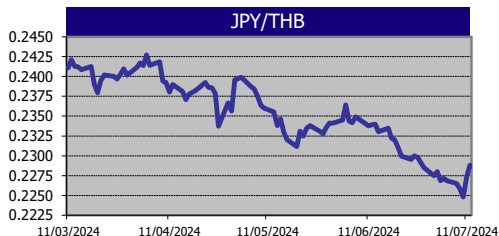
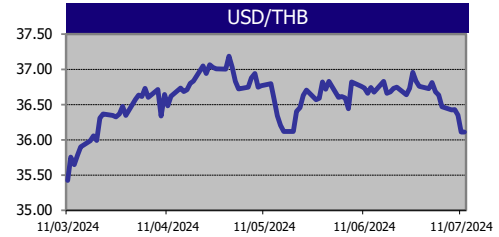
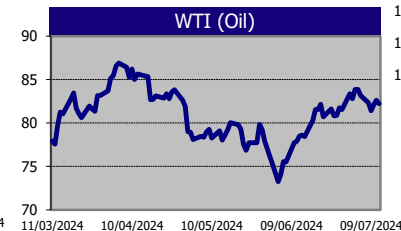
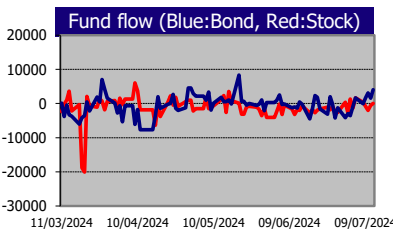
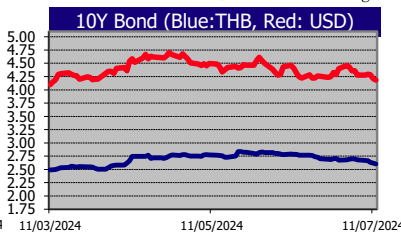
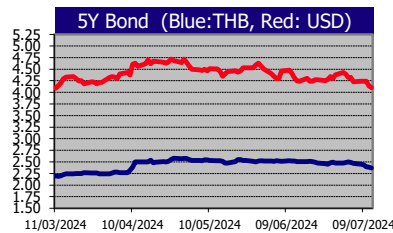
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,332.04	2.67
NIKKEI (JP)	41,190.68	-1033.34
DOW (US)	40,000.90	247.15
S&P500 (US)	5,615.35	30.81
SHCOMP (CN)	2,971.30	0.91
DAX(GER)	18,748.18	213.62

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	14	598.4
Bond net flow	4,031	2495.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・12日(金)のドルパーツは横這いでの推移。36パーツ台前半の水準で取引を開始したドルパーツは、序盤、底堅い推移を見せたものの、米国早期利下げ観測が台頭する中で、水準を変えるまでの勢いは見られず。海外時間に入り、米6月PPIは市場予想を上回るもドルパーツの反応は限定的に。ただ、その後発表された米6月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を下回り、加えて5-10年先期待インフレも前回から低下する結果となると、ドル売り優勢の展開となった。終盤にかけてオープンとほぼ同水準まで戻し、そのまま36.11レベルでクローズ。

●ドル円その他

・12日(金)のドル円は下落。日銀が「対ユーロでレートチェック」との報道に159円台半ばから157円台後半まで急落する等、オセアニア時間から荒れた推移となるも、次第に159円台前半の水準で落ち着きを取り戻す展開に。海外時間、強い米6月PPIへの反応は限定的となるも、その後再び本邦当局による介入と思われる動きが見られ、157円台半ばまで急落。動きが一服すると、終盤にかけては157円台後半付近から158円ちょうどの水準まで戻し、結局157.83レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週9日-10日に行われたパウエルFRB議長の議会証言では、米経済は「もはや過熱していない」とし、労働需給のギャップがコロナ前の水準まで大幅に縮小したこと等を指摘しながら、「次の行動が利上げになる可能性は低い」と述べた。同時に「緩和が遅過ぎたり、過少になったりすると経済活動と雇用が不当に弱まる恐れがある」とも述べ、今月2日の同氏の講演がハト派と捉えられていたことも相俟って、ドットチャートの見通しが引き上げられた前回FOMC(6月11日-12日)からの方針転換が大きく印象付けられることとなった。これを受けて、年内2回の米利下げが織り込まれる中で、ドルが全般的に下落し、パーツについては月初の36パーツ台後半の水準から、36パーツ台前半と約1.3%の上昇を見せている。足もと、下値の目途としては心理的節目であることやテクニカル的な観点から36パーツちょうどといったところか。ただ、16日には米6月小売売上高の発表が予定されており、ブラックアウト期間を控えたFed高官の発言機会も多くあることに加え、米大統領選が混迷を見せつつある中で、引き続きドルパーツの動向には留意しておきたい。(末廣)